

今年の5月から元号が変わり平成から令和となりました。新しい時代が始まった1年となったわけですが、5月からということもあり令和元年はあっという間に過ぎていったように思います。

小学校の現場に目を向けると、今までとは違った大きな教育改革の波が押し寄せています。小学校では、来年度から新しい学習指導要領の完全実施となり、教科としての外国語、プログラミング教育、ICT機器を使った授業改革などを進めていかなければなりません。これから大きく変化する時代を子どもたちがたくましく生きていくために必要なこと、いわゆる「流行」の部分が大きく取り上げられていますが、私は、学校教育や家庭教育の「不易」の部分、「当たり前」の部分があってこそその「流行」だと思っています。

決まった時間にしっかり眠る、食べる、学校に元気に登校する、まじめに学ぶ、あいさつをされたら必ず返す、約束を守る、ありがとうやごめんなさいが言える、友だちや周りの人を大切にするなどなど。どのような変化の激しい社会であっても、人として大事な基礎となることをこの時期に「当たり前」にさせないといけないと思っています。

2学期の終わりに

真夏の暑さが残る8月26日に2学期がスタートしました。2学期には、学習発表会という大きな行事がありました。マラソン大会、校外学習、人権教育参観日など学校行事も多く、また高学年では修学旅行、船上山宿泊学習と大忙しの2学期だったように思います。今年はラグビーワールドカップが日本であり、スポーツが大いに盛り上がりました。羽合小学校も陸上や水泳の中部や県大会で大活躍をしました。またスポーツだけではなく、標語や絵などのコンクールで賞をもらった人もたくさんいました。

賞状をもらった人だけが頑張ったのではありません。当たりのことですが授業にまじめに取り組んだ人、発表やきれいな字を書く事に頑張ったり、係活動や委員会活動、毎日の掃除やあいさつに一生懸命取り組んだり、学校全体のことを考えて活動した人もたくさんいました。

羽合小の子どもたちが、色々な分野で活躍して本当にうれしく思っています。その頑張っている姿を担当の先生方がたくさん見つけて書いています。全校児童の「羽合の子」を読みました。読んでいてとても嬉しくなりました。2学期の間にできるようになったことや頑張ったことなど、一人ひとりの2学期の成長の足跡が書かれています。「羽合の子」を一緒に見ながら、どうかお子さんに「頑張ったね。」と声をかけてあげてください。

明日は終業式、そして、12月26日から子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。年末年始で忙しいお家も多いと思いますが、事故やけがに気をつけ、学習やお手伝いなどに頑張ってほしいと思います。

この1年保護者の皆様には、羽合小学校の教育活動に、ご協力・ご支援いただきありがとうございます。皆さんでよいお年をお迎えください。そして来年もよろしく願います。

